



月ヶ瀬公民館だより

公益財団法人奈良市生涯学習財団
 月ヶ瀬公民館
 奈良市月ヶ瀬尾山 2815
 電話・FAX:0743-92-0346
 発行人:館長 藤田美佳

雨水 先月話題にした公民館玄関前の紅梅は、ようやく蕾がふくらんできました。雪がちらつく日が続きますが、開花までもまなくの気配です。

雪といえば、開催直前まで天候の影響が気がりだった月ヶ瀬梅溪早春マラソン大会は、第40回記念大会として、ゲストランナーに森脇健児さんを迎え、華々しく開催されました。森脇さんの控室が公民館に設けられた関係で、直接お話をする機会に恵まれました。接する中で感じたのは、さすが長期にわたり、芸能界で活躍されている方だという敬服の念です。大会を盛り上げ、参加者と交流する姿や、大会関係者と接する様子など、プロというのは、こういう方のことをさすのだなと感じ入りました。

森脇さんから色紙にサインを頂戴しましたので、公民館ロビーに展示しています。
 “ ヤルキ ゲンキ モリワキ 素直・謙虚・感謝 ” のステッカーが貼られています。



◆こんな講座がありました!◆

奈良市家庭教育サポートネットワーク支援事業「餅つきと昔の遊び」 2月1日



ロマンピア月ヶ瀬を会場に、「ながひき夢っこ」の小西まり子さん・福永早代子さん・中島嘉子さんが講師を務め、開催しました。もち米を蒸している間は、福笑い・百人一首(坊主めくり)・だるま落とし・あやとりをして遊びました。意外なほどに、こどもたちには坊主めくりが大人気で盛り上がりました。だるま落としは初めてだった子も多く、何度も何度も挑戦している様子が印象的でした。

0歳～小学生と保護者が集い、交流できたこと、また祖父母世代が、餅つきに遊びに活躍してくださったこと 多世代の交流がかない、公民館らしい講座ができて、温かな気持ちになりました。当日はこども園の参観日でしたが、終了後に本講座に参加して下さった方々もおりました。ともにつきたてのお餅を味わいました!



公民館であそぼう～寒さをふっ飛ばせ!② 2月12日

先月・今月の2ヶ月連続で、スポーツレーナーの指導で身体を動かしました。月ヶ瀬っ子は、元気いっぱい!
 「楽しかった」、「また公民館に行きたい」との感想でした。



□■□ 今後の主催事業 □■□

月ヶ瀬写真展 令和7年3月23日(日)まで ※休館日(月曜・国民の休日)を除く
開館時間:午前9時~午後5時(貸館利用のある時は午後9時まで)
自主グループ「月ヶ瀬写真部」の会員による作品の展示です。



■**プチ田舎暮らし・月ヶ瀬** ※申し込み受け付けは、終了しています。



【紅花染】2月26日(水)【月ヶ瀬茶】3月4日(火)

■**月ヶ瀬歴史探訪** 3月6日(木)午前10時45分~午後12時30分 講師:月ヶ瀬ボランティアガイドの会 稲葉耕一さん、内容:月ヶ瀬村の経済更生に手腕を発揮し、月ヶ瀬梅溪を復興させた小西元村長の生涯をふりかえり、月ヶ瀬の歴史を学びます。※参加を希望される方は、月ヶ瀬公民館までご連絡ください。



図書室だより



夜の図書室③ 2月7日
※次回は3月7日午後7時~8時30分 会場:ONOONO

移動図書館についての重要なお知らせ

月ヶ瀬公民館における移動図書館の利用者が少ないことを理由に、廃止の危機にあります。令和7年度9月までは来館してもらえることになりましたが、各月10人以上の利用がない場合、10月から廃止するとの通告がありました。

市立図書館の蔵書を1か月間借りることができたり、本が積まれた乗り物を体験することが出来るなど、月ヶ瀬文庫(公民館の図書室)とは一味違った愉しみを得られる場所・機会です。4月以降の予定については、3月にお知らせを配布しますので、存続のためにも、積極的にご利用願えればと思います。どうぞよろしくお願ひします。



今回のテーマは、「大人が楽しむ絵本の魅力」でした。はじめに館長の藤田が、月ヶ瀬文庫にある新旧の絵本から数冊選び、その魅力を紹介しました。

次に参加者各人が選書し、選んだ理由を語り・聴き合いました。「なるほど」とか、「お~!」「読んでみたくなった」など興味深い語り合いの時間でした。

参加者が選んだ絵本は、図書室で紹介コーナーを作りました。また同じタイトルの昔ばなしでも語り口、文体などが異なるものもあり、読み比べをしてみようの展示もしています。

参加者同士で和やかに語り合っているうちに、外が吹雪になっていたのはビックリでした。

少しずつ新しい仲間も増えて交流しています。

次回は3月14日(金)
午後2時50分~3時30分



- ★1か月、1人10冊
- ★市立図書館蔵書のリクエストが可能。
- ★インターネットで予約して、移動図書館で受け取れます。

新刊が入荷しました!

絵本・児童書4冊、一般書8冊



杜と成す御陵の郷の初御空	節子
チエンソのオイル満たして山始め	新哉
義父に似てメモを並べし小晦日	朋子
冬ざれば駆け寄る子らの息が追ふ	白鯨
鬼は外家族元気で福は内	旅人
寒九の水空のま蒼を添へて飲む	かつ野
独り夜の炬燵昭和の玉手箱	すま
ととのえし千本の糸初日受く	定代
洗い手に農夫の意気やくわい剥き	繁夫
冬ソバの天盛り食す駅出口	卓
千年の変はりなき里山笑ふ	ちず子
半纏のいなせな漢とんどこかな	知里
空白の日を残して日記果つ	豊美
童心に返るはらから歌かるた	由姫子
母の味越せぬ山あり味噌雑煮	ふみ子
人の世に生きて卒寿や吉書揚ぐ	和代
香り良きレモンのジャムのほろ苦し	利明
気を吸へば夢の膨らむ初日の出	ますみ

月ヶ瀬俳句会(一月)

奈良市生涯学習財団 <https://manabunara.jp/>
公民館だよりバックナンバー(既刊) 施設紹介→月ヶ瀬公民館→公民館だより

